



## 外国出張報告書

平成 26 年 7 月 15 日

1. 出張国名           ラオス
2. 出張月            平成 26 年 5 月～7 月
3. 出張目的          雨季の家畜飼料基盤の確立に関する調査：C

#### 4. 成果の概要

ラオス畜産研究センター（LRC）において、放牧試験を開始し、昨年までの手法に従い、体重測定、採食量測定のための草量調査を行った。また、LRC の放牧地における牛の行動調査を行った結果、採食行動が午後から夕方にかけて旺盛であることが明らかになった。

この他、LRC に、牧草の系統試験のための圃場を作成し、播種を行った。

ナムアン村の畑圃場及び耕耘機造成圃場に *Bracharia Decomebence* 及び *B. Humidicola* を播種したところ、前者の発芽が優れていた。

ナムアン村の牛の行動を調査したところ、昼間は広い範囲に広がり採食等を行い、夕方から早朝にかけてやや標高の高いところに集まり休息を行う行動パターンが見られた。家畜飼料に利用可能な各種副産物に関する調査の結果、ビール醸造副産物、キャッサバ残渣、ハトムギ残渣が有望であることが推察された。